

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名：栃木県 宇都宮市 建設部 道路建設課

事業の名称：宇都宮都市計画道路3・3・105号

産業通り(西原立体)

実施都市名：栃木県 宇都宮市

事業目的

都市計画道路3・3・105号産業通りは、宇都宮環状道路(外環状線)と内環状線とのほぼ中間に位置しており、平出工業団地内の国道4号から下砥上町地内の宇都宮環状道路まで至り環状機能を補完するものであり、本市の経済・産業の発展に欠かすことのできない重要な幹線道路である。

立体交差事業を実施した本区間は、国道4号と主要地方道宇都宮結城線を結び、JR宇都宮線と一級河川田川により分断されている東西交通の連結強化を図るとともに、慢性的に渋滞している川田入口交差点(宇都宮市渋滞対策緊急実行計画指定交差点)の交通渋滞解消に寄与する事業である。

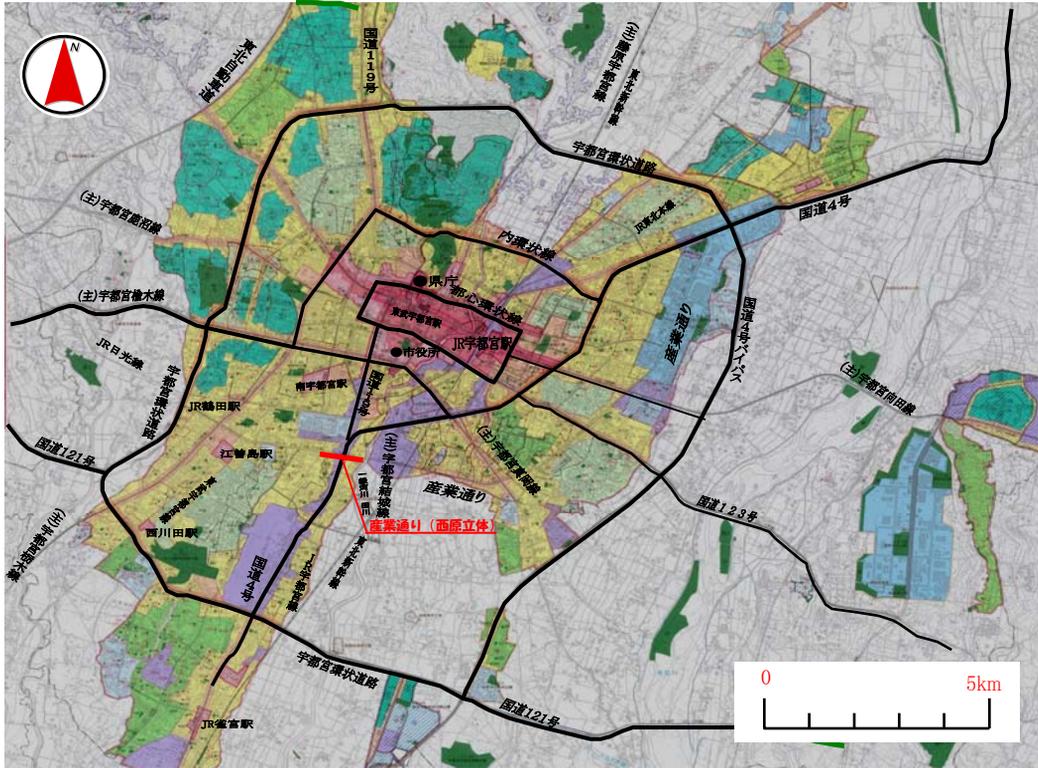
事業概要

事業名:宇都宮都市計画道路整備事業
路線名:都市計画道路3・3・105号産業通り(西原立体)
事業箇所:宇都宮市川田町～陽南2丁目
事業延長:683m
幅員:25～46m
総事業費:約152億円
事業期間:平成3年～平成19年

本事業区間は、宇都宮市内で交通渋滞の最も激しい川田入口交差点を含む、延長683mの区間であり、国道4号とJR宇都宮線を連続して立体交差化を図るもので、いずれも産業通りがアンダーパスする構造である。

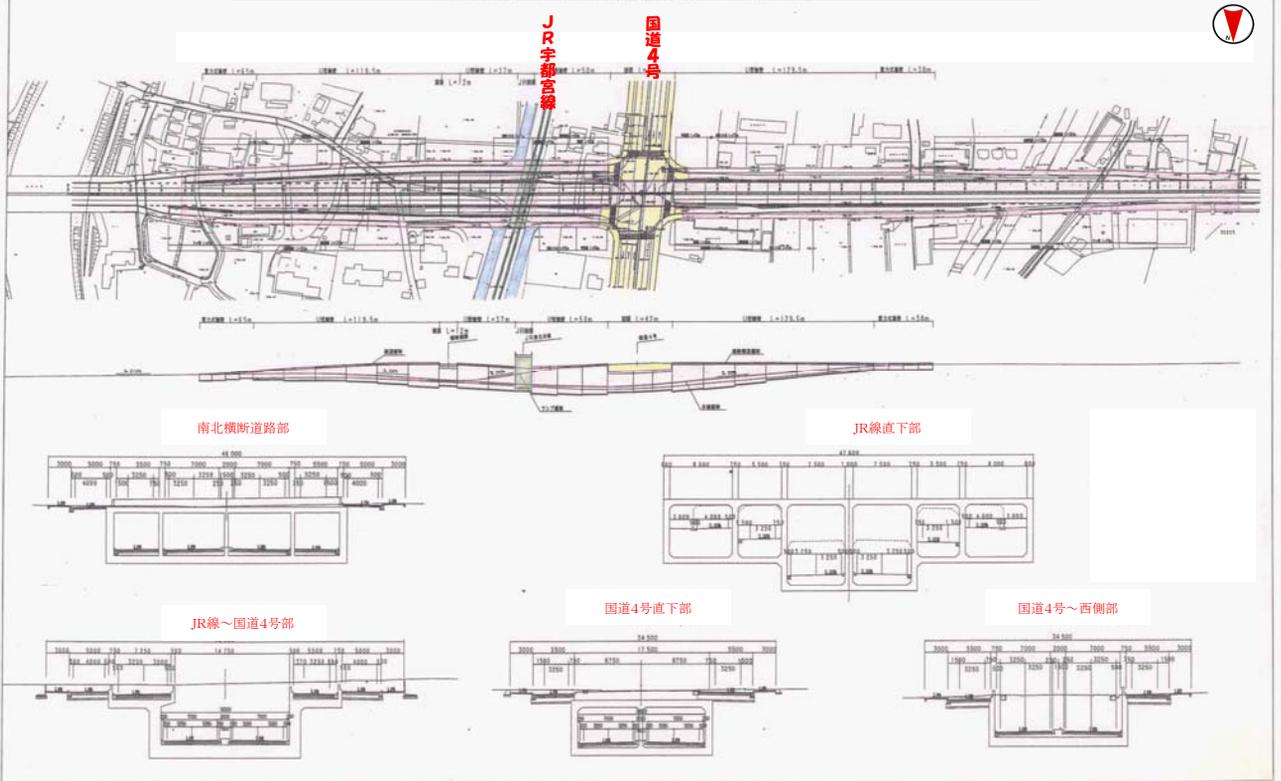
国道4号とJR宇都宮線とは距離が近接しているため、既存のJR宇都宮線の高さでは、国道4号までの接続道路の高さが確保できないことから、一里踏切から国道4号跨線橋までの延長1130m区間で、最大約3mのJR線嵩上工事を実施した。

事業位置図

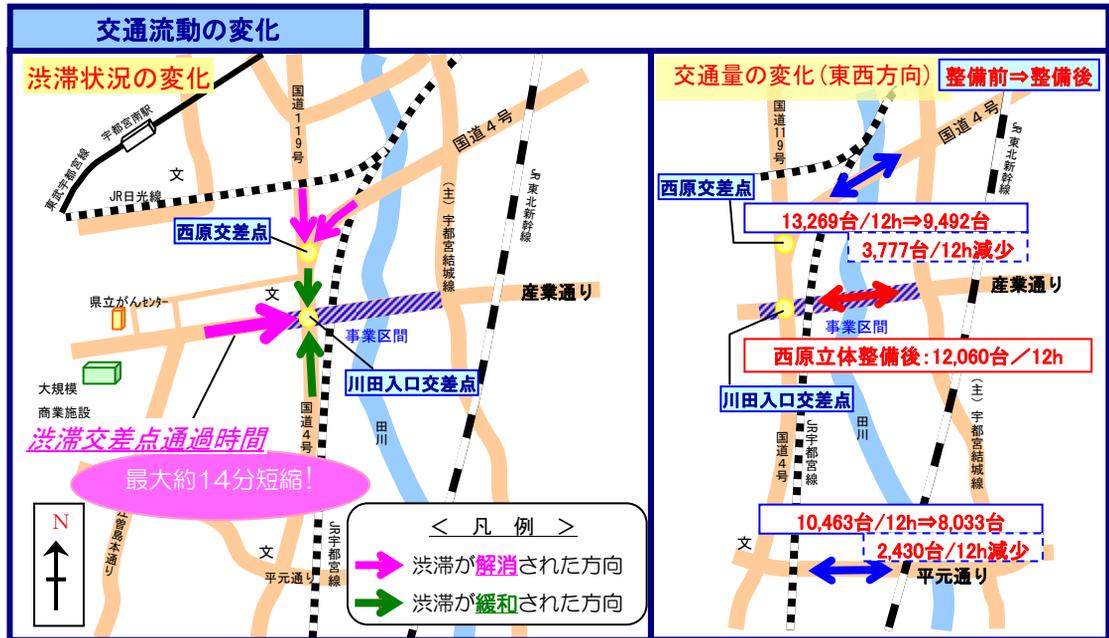


全体図(平面図・側面図・横断面図)

都市計画道路3・3・105号産業通り(西原立体) 平面図 縦断面図 断面図



産業通り(西原立体)の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名:宇都宮都市計画道路整備事業
 路線名:都市計画道路3・3・105号産業通り(西原立体)
 事業箇所:宇都宮市川田町～陽南2丁目
 事業延長:683m
 幅員:25～46m
 総事業費:152億円
 事業期間:平成3年～平成19年

○交通量調査結果

供用前 平成20年3月13日実測
 供用後 平成20年7月16日実測

・交通量の推移
 産業通り(西原立体) 0台→12,060台
 国道4号 13,269台→9,492台 3,777減
 平元通り 10,463台→8,033台 2,430減

「整備効果」

○渋滞の解消・緩和

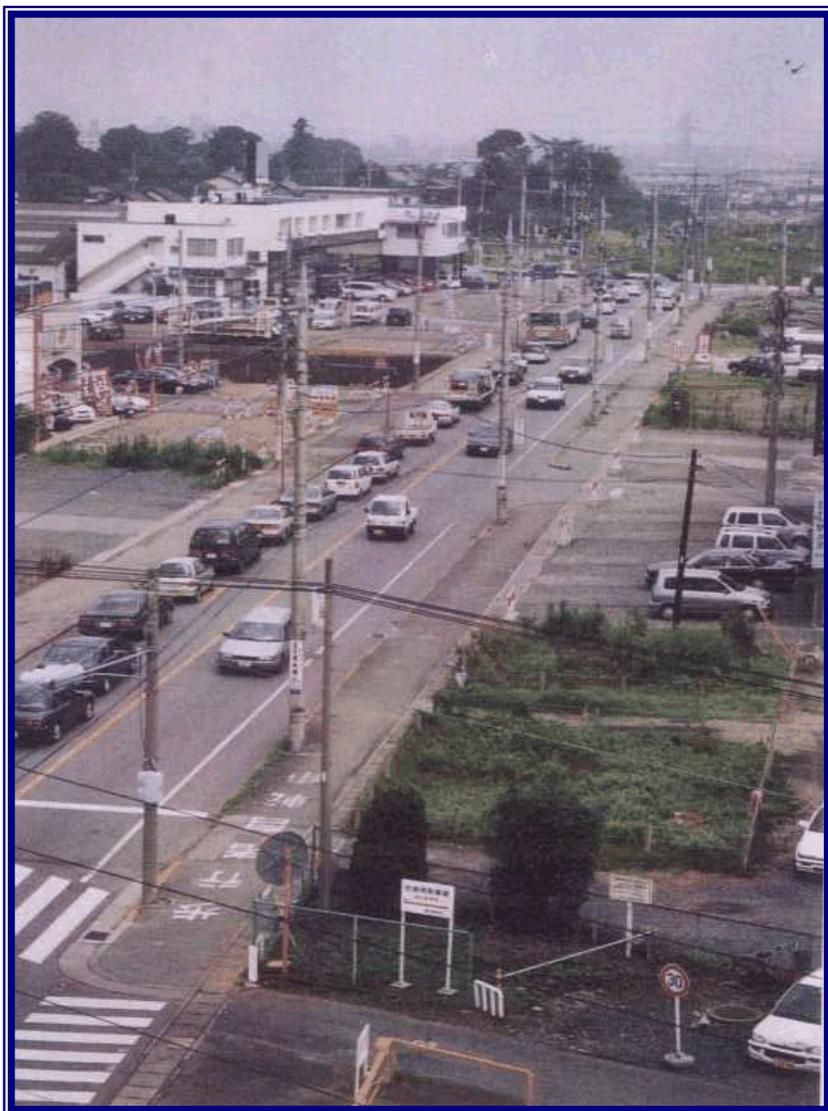
交差点名	路線名	進行方向	最大渋滞長			最大の渋滞通過時間		
			整備前	整備後	前後比較	整備前	整備後	前後比較
西原交差点	国道4号	南進	40m	0m	渋滞解消	3分15秒	0分39秒	約3分短縮
	国道119号	南進	450m	0m	渋滞解消	8分41秒	0分38秒	約8分短縮
川田入口交差点	産業通り	東進	650m	0m	渋滞解消	14分30秒	0分34秒	約14分短縮
	国道4号	南進	110m	40m	渋滞緩和	3分31秒	3分02秒	約30秒短縮
	国道4号	北進	530m	10m	渋滞緩和	8分35秒	2分15秒	約6分短縮

○東西交通の連結強化

競合路線からの転換交通量 約6千台
 新規開通に伴う誘発交通量 約5～6千台

事業前写真

平成11年7月撮影



平成11年7月撮影



事業後写真

平成20年4月撮影



平成20年4月撮影

平成20年5月撮影

